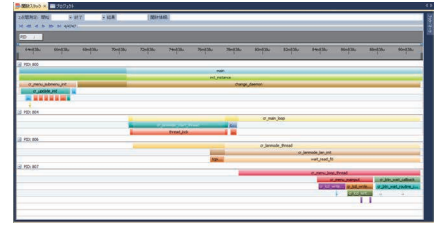




# プログラムの見える化から再現デバッグへ

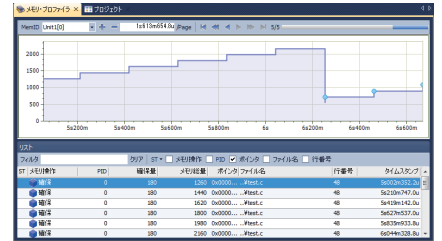
## 関数の見える化

関数の実行履歴をグラフ表示します。意図しない呼び出しや、時間が異常な関数を簡単に見つけることができ、そこから再現デバッグが可能です。RTOSやLinuxに対応、タスクやスレッドも見える化されます。関数検索やマーク設定、2点間の時間計測など、デバッグに役立つ機能がそろっています。



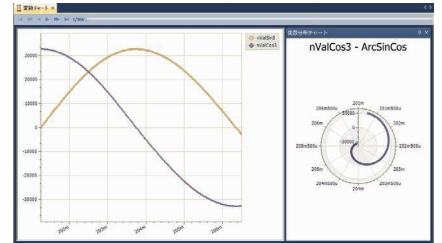
## 動的メモリの見える化

動的メモリの使用状況を監視しグラフ表示します。メモリの確保や解放が一目でわかるので、異常なメモリ確保を見つけることが容易になります。また、メモリ・リークや多重解放などの異常ポイントを検出し、そのポイントから再現デバッグを行うことも可能です。



## 変数の見える化

変数の値の変化をグラフ表示します。変数値を見る化することで、バグの原因となりそうな突出した値を確認することができます。値の検索も簡単にいきますので、値が変更されたポイントを表示し、そのポイントから再現デバッグを行うことも可能です。



# CodeRecorderはデバッグだけではありません

## 攻めの品質アップを 具体化するカバレッジ機能

### コードの通過率でテストの進捗を把握する

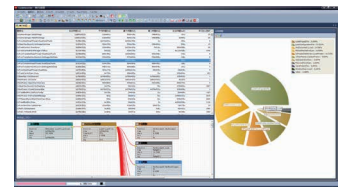
ソース単位や関数単位でのC0/C1カバレッジ率を確認できます。テストによってソース・コードの何パーセントが通過したかを把握することができ、未通過のテスト項目を追加することで、品質向上を図ることができます。

テスト項目	通過	失敗	通過率	失敗率
Test1	10	0	100%	0%
Test2	5	5	50%	50%
Test3	0	10	0%	100%

## パフォーマンス解析で 速度を上げる!

### 関数の実行時間計測でボトルネックを発見

関数ごとの実行時間や呼び出し回数、最大、最小、平均の実行時間を計測し表示します。呼び出ししている子関数の割合を円グラフで表示することや、関数のコールグラフから、ボトルネック関数を見つけることも可能です。



## ターゲット接続が簡単

接続は高速データ通信のメモリ・バスと、最少2ピンで接続できるGPIOを選択可能です。



メモリ・バス・インターフェース GPIOインターフェース

**Computex**

株式会社コンピューテックス  
営業部

TEL 075-551-0528(代) FAX 075-551-2585

E-MAIL sales@computex.co.jp

<https://www.computex.co.jp/>

- 本製品の内容、および仕様に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- COMPUTEXは株式会社コンピューテックスの登録商標です。
- その他、記載されている製品および会社名は、各社の商号、登録商標または商標です。

CKO182(A)1808